

株式会社ジェイコムイースト 小田原局

2018 年度 放送番組審議会 議事録

2018 年度の放送番組審議会は、2019 年 3 月 20 日(水)に小田原局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

—ご出席—

大石 卓哉 様	瀬戸 淳子 様	林 良英 様
宮川 萬寿美 様	山岡 弘 様	芳澤 一夫 様

—ご欠席—

鈴木 一也 様	柳下 登 様
---------	--------

委員の互選により、会長には芳澤氏が、副会長には宮川氏が選任された。

その後、事業者側から局の現況、及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)、さらにデイリーニュースの放送時間の変更、防災情報サービスの新機能、ライブカメラの設置などについて報告があった。

【質疑応答・意見交換】(芳澤会長による進行)

委員 随分、番組が充実してきたという印象を持った。

委員 昨年の放送番組審議会で紹介された地域情報アプリ「ど・ろーかる」(J:COM で放送中の地域のニュースやお祭り、花火大会の生中継などを外出先でもスマホやタブレットで視聴できるアプリ)に関心がある。このアプリを使えば、J:COM 小田原エリア限定放送の「デイリーニュース小田原」を他のエリアの方にも見てもらうことができる。そこで、小田原への集客を図れるよう、同番組で小田原の季節の花やグルメ等を紹介して欲しい。

委員 開成町の情報を、まずは近隣にお住まいの 20 万人弱の小田原市民へ届けたいと思っているので、ケーブルテレビ局や FM 局、タウン誌等の地域メディアへの期待は大きい。是非、今後も J:COM と連携して情報を発信したい。

委員 先程、話題に出した地域情報アプリ「ど・ろーかる」を使えば、例えば、開成町の「あじさいまつり」について、J:COM が取材した情報だけでなく、その祭りの来場者から投稿された情報も発信することができる。祭りの内容や混み具合、天気など最新情

報を入手できることから、集客にも貢献できるのではないか。

委員 このアプリは最新情報を発信できるので、イベントのみならず、防災の情報も発信して欲しい。

委員 今月、「激アツ！街かどタブレット大作戦」（地域の方々と共に生中継で神奈川県各地の新鮮な“今”をお伝えする情報番組）で南足柄市にある最乗寺が紹介されたが、その反響が凄く大きかった。特に横浜市在住の方からの問い合わせが多かった。今後も、この番組に期待したい。

委員 J:COM チャンネルに、赤ちゃんからお年寄りの方まで、地域の人たちがまんべんなく映っている点に好感が持てる。また、その映像には、地域の方々が楽しそうにしている姿を伝えたいという伝え手の想いも感じられる。これらの映像は、高齢者施設や障がい者施設に入所されている方々へ生まれ育った地域の様子を知らせることになり、とても有意義だと思う。

委員 若者への情報発信は難しいと感じている。そのような中、若者に最も身近なメディアはスマートフォンなので、地域情報を発信するには、地域情報アプリ「ど・ろーかる」が有効なツールになるだろう。是非、学生にこのアプリを周知し、視聴習慣を付けてもらえるよう働きかけて欲しい。

委員 そうすれば、学生が地域情報の発信者にもなり得るので、このアプリに期待したい。

また、ここ数年来、番組内容が充実してきているが、一方で湘南地域、さらに神奈川県全域を対象にした番組も目立つ。しかし、ケーブルテレビの本質は、あくまでもローカルだと思っている。J:COM 小田原で言えば、小田原市、南足柄市、開成町の情報が基本であろう。J:COM は広域番組に重点を移そうとしているのか？

事業者 広域番組に重点を移そうとは考えていない。我々の魂は狭域に向いており、狭域を大切にしなければならないと思っている。

委員 一つ提案がある。日本人の関心事として、まずは“防災・減災”、続いて“健康”があると思う。前者について、J:COM は積極的に情報発信しており、評価している。今後、J:COM へ期待することは、後者の情報発信である。今、健康分野において「未病を治す（特定の病気になってから治療を開始するのではなく、普段の生活において心身の状態を整えて、より健康な状態に少しでも近づけること）」という考え方が注目されている。超高齢化社会を迎え、この考え方はますます重要になってくると思うので、病気

やケガをしないための予防法を紹介する番組を制作して欲しい。この種の番組なら、狭域にこだわらず、むしろ多くの人員や予算をかけられる広域で制作・放送してもよいと思う。

委員 J:COM チャンネルの編成方針の一つに「地域内に住む多くの方々に番組への参加を促進すること」があった。この方針は、様々な分野で活動されている方々のヤル気スイッチを押すことになるだろう。そして、番組への参加者が増えれば、地域全体が元気になると思うので、是非推進して欲しい。

委員 同感である。例えば、「あじさいまつり」の紹介の際には、綺麗なあじさいのことだけでなく、そのあじさいを育てた方や、来場者に気持ち良く観賞してもらえるよう園内を整備した方なども紹介してもらいたい。

委員 イベント情報を発信する時は、駐車場やトイレの場所、子供用の遊び場なども紹介して欲しい。

委員 最近の施設は、祖父母・その子供・孫の三世代が楽しめるように作られている。番組も同様だと思うが、三世代の内、現役世代は仕事で忙しくしているので、祖父母と孫にスポットを当てた番組を意識的に制作してはどうか。

事業者 貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。皆様からのご意見を生かして、より良い番組作りに努めます。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

以上